

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	通所運動療育アットスクール調布		公表日	令和7年 年 3月 19日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	ヘルプの体制は整っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	清掃はチェック表も用いて定期的と日々行われている。	不要なものの処分や整理整頓が不十分。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	個別の部屋ではなくパーティションで区切り個々のスペースは確保している。	相談室などいつでも使用できるよう日頃から整理整頓や環境を整えている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	集計後、意向やご意見などをスタッフ全員で把握するミーティングの時間を設け案を出し合い業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	日々、振り返りの際に支援の内容だけでなくスタッフからの意見を話し合える時間を確保しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		今後必要であれば検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	業者の方や講師の方を呼んで研修の機会を設けています。また、どういった研修が必要かスタッフから聞き取る機会もあります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	令和7年3月より会社ホームページにて公表いたします。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	支援計画の内容を定期的に確認する時間を設け支援に入っています。	作成された後の共有はもっと定期的に行ったほうが良いのではないかと。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	個々の成長や目標に合わせて五領域をもとに作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	アットスクールとしての年間の活動テーマがあり、それに沿った季節の活動だけでなく固定化されないようチームで話し合い工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		個別の活動が多くなっている為、集団を意識した声かけや支援を増やしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援スケジュールを用いて担当だけでなく、活動や休憩など細かく確認が行われている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	当日中に振り返れない場合は翌日には行い、その場に参加できないスタッフにも共有が漏れる事無いよう記録はしっかりと残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	それぞれに合わせた方法で自己選択決定できるような活動の工夫をしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校が行う説明会に参加し情報共有を行いそれをもとにご家族とも共有対応で出来ている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		情報共有をしているお子様としていないお子様がいます。どこまでこちらから情報提供を求めて良いかわからない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		どのような方法でどこまで情報提供・共有が行われているかわからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		保護者の要望や事業所としての必要性も含めると今すぐに機会を設ける必要があるかも検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時に状況や児童だけでなくご家族のお話も共有できている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	ご家庭での困りごとの相談支援やお子様の発達身体状況や支援方法の相談支援を行っている。	ご家族等が参加できる研修の機会や情報提供は行っていないため、情報収集・提供の方法は検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		保護者からの要望の声もあがっているがすぐに実施は難しい部分はあるため検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	会報誌にてお知らせ発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		地域住民を招待する機会は設けていませんが、今後地域との関りに関しては検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		防犯に関しては訓練未実施、事故防止マニュアルがどれかわからないとの声もあるため訓練以外の研修も必要なのではないか ご家族向けには会報誌にてお知らせできると良いのでは
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	日々の振り返りの際、共有と再発防止や改善策の話し合いを行っています。	インシデント・アクシデントは報告書のあげているが、ヒヤリハットは共有できていない時や遅れてする時、全体周知でない時がある為、振り返りで皆に共有していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	虐待防止委員会の設置や動画視聴での研修も行っていきます。	委員会の設置や動画視聴も研修になる旨の説明のなどが出来ていないため把握されていないスタッフがいたのではないかと
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	契約の際に説明させていただいており、同意書をいただいています。その後内容に変更がある場合にも都度話し合い検討し保護者に事前に説明し同意書も変更しています。	新入職の方は特に取り組みについてお伝えできていない部分がある、説明に漏れが無いようどのタイミングでどこまで説明するか管理者も把握が出来たいなかった。	